

◇学んだことを実践に繋げる！

10月3日（木）、8日（火）に実施した初任者・新規採用者研修第9回では、「人権教育の推進と様々な人権課題」をテーマに研修をおこないました。講師の先生には、学校現場での具体的な事例に基づいた講義・演習をおこなっていただき、様々な人権課題について触れる機会になりました。研修の終わりに、講師の先生から「みなさんに期待すること」として、以下の3点が挙げられました。

- ① 教職員自身が学び続けること。学びの場へ出かけ、様々な人に出会い、様々な価値観に触れる。
- ② 学んだことを展望のもてる実践につなげる。自分が勉強しているだけでは、子どもに力はつかない。
- ③ 目の前の「子どもから学ぶ」

第9回の研修では、その存在に少し『触れただけ』です。これをきっかけに、ご自身で学びを深め、目の前の子どもたちへの実践に繋げて欲しいと思います。

◇同じ景色のはず・・・！？

第9回の研修を終えて、皆さんに問いたいことがあります。それは、研修の前後で「目に映る景色が変わりましたか？」ということです。研修の前日、翌日という、物理的には大きな変化はないはず。同じ通勤経路、同じ学校、同じ教室、同じ職員室、同じ子どもたち・・・景色はさほど変わってないはず。しかし、皆さんの中で目に映る景色が変わったという方も多いのではないのでしょうか？例えば、宿題を忘れた子がいつもより困っているように見えたり、いつもは見えていなかった他の先生の子どもたちへの配慮が見えたり、いつもは気にならない学校事務職員と保護者の電話内容が気になったり・・・これらの事象は、以前からその場に存在していたはず。つまり、変わったのは景色ではなく、景色を見ている皆さんの方だということで、研修受講によって、皆さんのものの見方が変わったのだといえます。

初任者・新規採用者研修第10回では、『生徒指導』をテーマに研修を行います。研修前後で、自分に見える景色の変化に着目し、ご自身の学びの成果を確かめてみてください。

